

平成27年度全国学力・学習状況調査について（北島中学校）

全国学力・学習状況調査（文部科学省，国立教育政策研究所）は，「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図るとともに，学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに，そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」という目的で行われています。

対象の学年は，小学校第6学年と中学校第3学年です。国語，算数・数学の調査は，「主として『知識』に関する問題」（A）と「主として『活用』に関する問題」（B）が出題されました。理科は「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」が一体的に出題されました。質問紙調査は，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問87項目です。

本調査の概要では，「国語，算数・数学，理科の3教科のみであること，必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない等のことから，本調査の結果については，児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること，学校における教育活動の一側面に過ぎない」と示されていますが，調査の結果を真摯に受け止め，今後の教育活動の指導，改善につなげたいと考えております。

全国学力・学習状況調査の報告書によれば，学力と日々の学校生活，家庭生活と高い相関関係があると報告されています。また，国語，算数・数学，理科の3教科とも平均正答率等を見ると，地域の規模等による大きな差は見られないことや，ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり，大きな差は見られないことが昨年度同様に報告されています。

本校においても，「学力向上検討委員会」を設置し，全国学力・学習状況調査の結果について，分析，評価しました。生徒一人一人の学力の結果について，よかった内容や項目，課題などを知らせるとともに，更なる向上と改善に努めて参ります。また，保護者との個人懇談でも，他の学力テストの結果を踏まえながら，学力や学習の状況について話し合い，学校と家庭が連携して子どもたちの学力を高めたいと思っております。

そこで，本校の生徒（3年生）の質問項目結果から，
「今後も引き続き実践してほしいこと」，

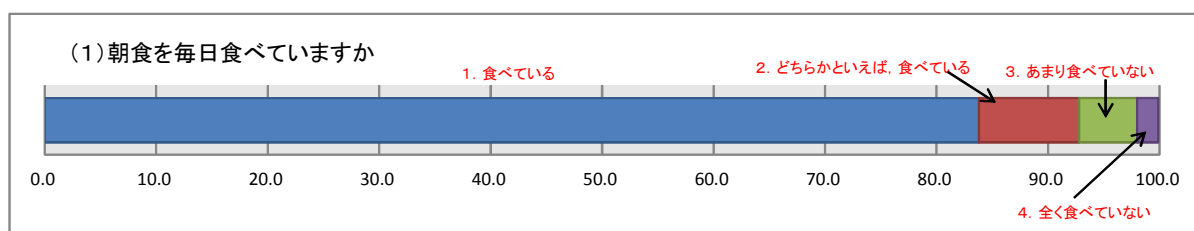
「より実践することが望ましいこと（課題）」について，次に示しました。

（全国平均と比較して上位、下位を表すものではありません。 ※については，グラフ有り）

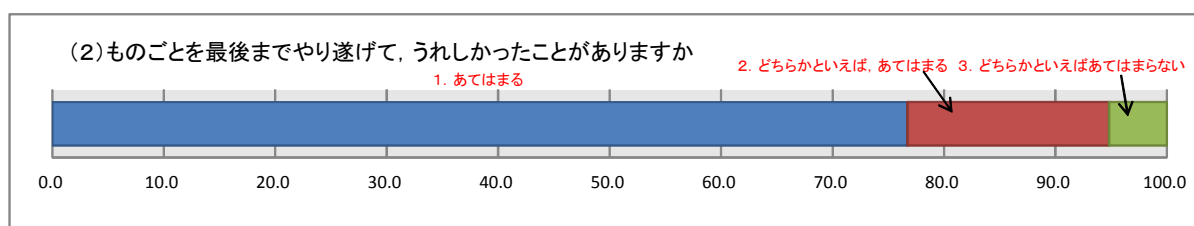
1 今後も引き続き実践してほしいこと

- ◎ 朝食を毎日食べる。(※1)
- ◎ 友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- ◎ ものごとを最後までやり遂げる。(※2)
- ◎ 学校に行くのは楽しい。
- ◎ 人の気持ちが分かる人間になりたい。
- ◎ 人の役に立つ人間になりたい。
- ◎ 家で、学校の宿題をする。(※3)
- ◎ 家の人と学校での出来事について話をする。

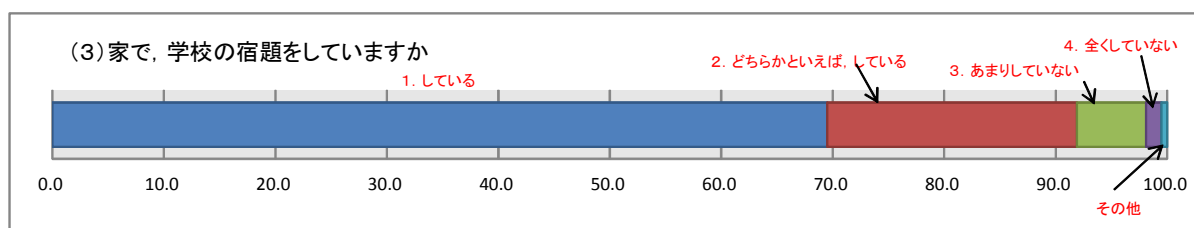
※1 「朝食を毎日食べていますか」



※2 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか」



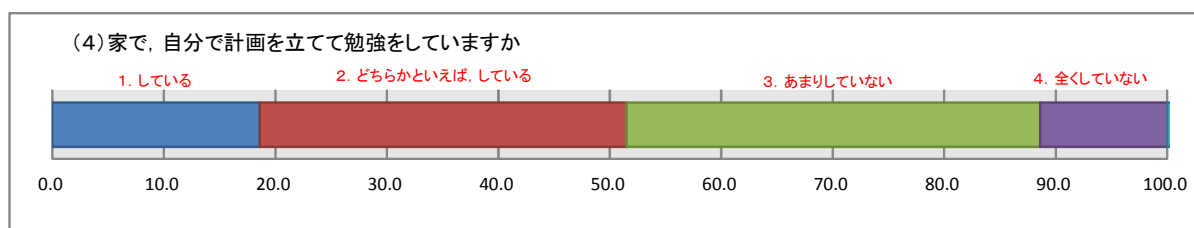
※3 「家で、学校の宿題をしていますか」



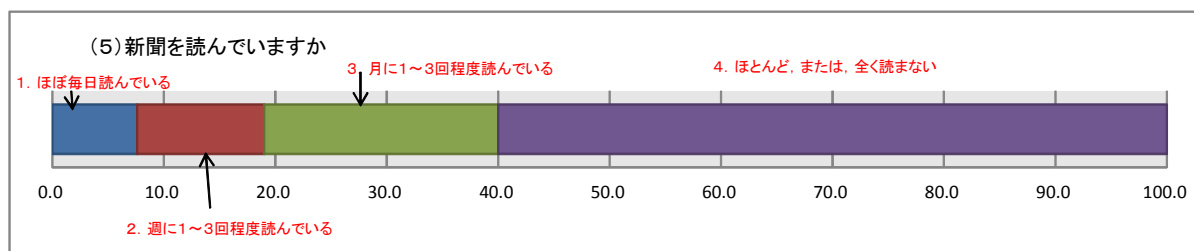
2 より実践することが望ましいこと(課題)

- ◎ 家で、自分で計画を立てて勉強をする。(※4)
- ◎ 土曜日や日曜日など学校が休みの日にもしっかり勉強をする。
- ◎ 読書をする。
- ◎ 新聞を読む。(※5)
- ◎ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持つ。
- ◎ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える。(※6)
- ◎ 今住んでいる地域の行事に参加する。

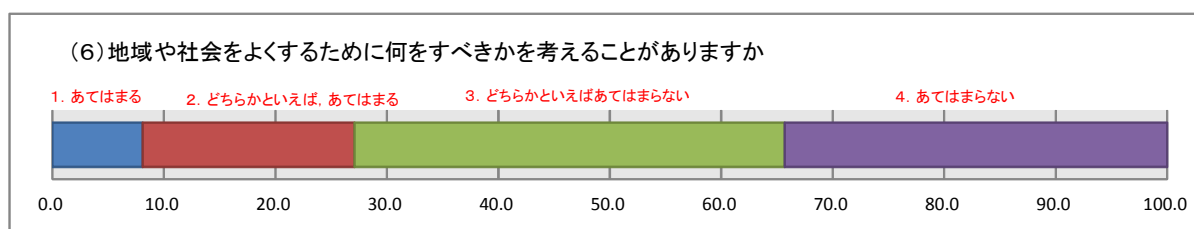
※4 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」



※5 「新聞を読んでいますか」



※6 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがありますか」



今後も、教職員一丸となって、生徒一人一人の学習・生活指導上の課題を把握し、学習改善、学習意欲の向上、生活の充実を図って参りたいと思っております。ご家庭におきましても、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。